

ThinkQuest (シンククエスト) の現状と課題

ThinkQuestは、96年に米国で始まった、12～19才の中学生・高校生を対象とした教材Webページ制作コンテストである。2～3人の生徒がチームを組み、1つのトピックに基づいて半年から1年かけて Webページを制作する。応募部門は、「科学・数学」「芸術・文学」「社会科学」「スポーツ・保健」「学際」の5つ。部門の選択もトピックの選択も自由であるが、出来上がった Webページは、世界中の生徒が利用できる教材であることが条件となる。優秀な作品には、部門毎に賞(第1位～第5位)が授与される。また、部門を越えて最も優秀な作品には最優秀賞が授与される。受賞チームに対して総額100万ドル(約1億2千万円)の奨学金・賞金が授与されるのもこのプログラムの大きな特徴である。さらに、提出された作品は、教材としての基準を満たしているかどうかチェックされ、基準を満たしているものはインターネット上の教材ライブラリーに加えられる仕組みになっている。

日本での活動は、ThinkQuest '98に対する参加の支援・促進活動から始まった。97年12月のことである。本稿では、ThinkQuest '98への日本からの参加状況、並びに、日本語によるThinkQuestであるThinkQuest@JAPAN '98の結果について報告する。

ThinkQuest '98

ThinkQuest '98に対する全世界からの参加者数は、5,852人。日本からは32チーム79人が参加した。オンラインによる第1次審査の結果、幸運にも日本からの参加者を含む2チームがファイナリストに選ばれた(ファイナリストは全部で34チーム)。最終審査は、米国ロサンゼルスで面談の形で行われ、その結果、名古屋市立城山中学校の世古繁喜君のチームが、社会科学部門において第3位およびコラボレーション賞を受賞、生徒1人につき14,000ドル(約170万円)の奨学金が授与された(奨学金は、大学に入学した後、授業料として主催団体から大学へ支払われる)。また、セン

トメアリー・インターナショナルスクールのJames Matthews君のチームはSpecial Recognition として評価を受けた。

ThinkQuest@JAPAN '98 日本語による国際コンテスト

上記ThinkQuest '98の募集活動の過程で、いくつかの課題に遭遇した。「日本の中学生・高校生にとって最初から英語でWebページを作るというのは困難である」「先生達の正しい理解を得なければ普及は難しい」「コンテストの結果いくら英語の教材が増えたとしても日本の教育でそれを使うことはできない」等々である。これらの課題を検討した結果、日本語によるThinkQuestである「ThinkQuest@JAPAN '98」が企画された。ThinkQuest@JAPANは、ThinkQuestのコンセプトをできる限り踏襲すると同時に、独自の趣向も加えられた。1つは、学校の先生も参加者として参加できるよう「大学生・社会人の部」を設けたこと。もう1つは、ThinkQuest@JAPANを「日本の国内コンテスト」にするのではなく「日本語に

よる国際コンテスト」にするという意向である。

ThinkQuest@JAPAN '98は、98年7月に正式に募集を開始。中学生・高校生の部は、103チーム268人、大学生・社会人の部は、16チーム 39人の参加申込があった。99年2月16日に作品提出を締め切り、オンラインによる第1次審査および最終審査が行われた。その結果、中学生・高校生の部においては、15チームがファイナリスト各賞に、大学生・社会人の部においては4チームがファイナリスト各賞に選ばれ、すべての受賞チームが東京での授賞式に招待された。この中には、米国サンフランシスコから参加したチームも含まれており、企画当初に意図した「日本語による国際コンテスト」が奇しくも初年度より実現できたということになる。

(坪 俊宏 ThinkQuest日本プログラム事務局
事務局長／グローバルcommons株式会社
・代表取締役)



ThinkQuestウェブサイト
<http://www.thinkquest.gr.jp/>



ThinkQuest@JAPAN '98「中学生・高校生の部」で最優秀賞を受賞した「THE COSMOLOGY -EXPLORE THE LARGEST MYSTERY-」
<http://contest.thinkquest.gr.jp/tqj1998/10073/>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp